

六角川水系 国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ

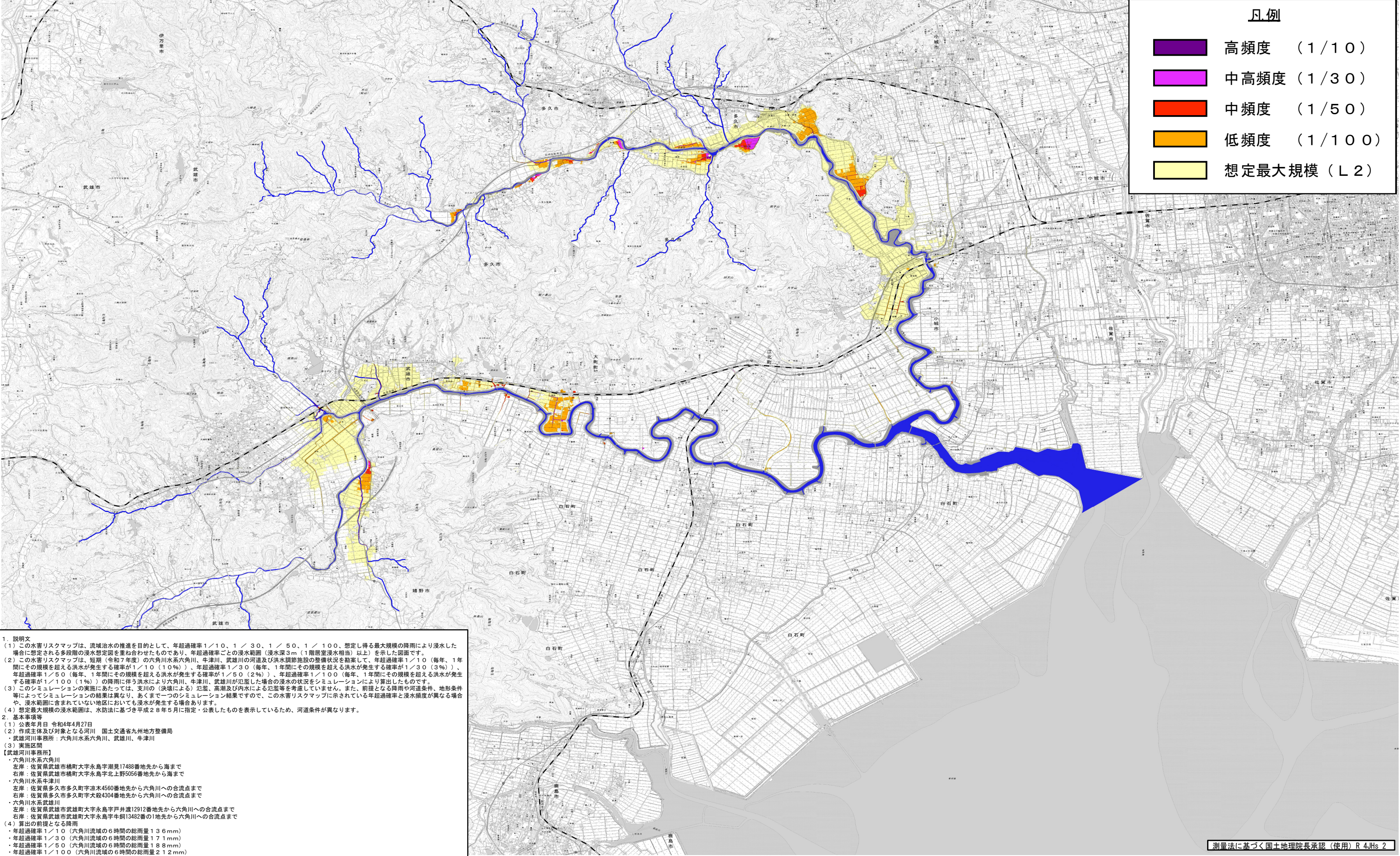
【短期河道】

暫定版

浸水深3m（1階居室浸水相当）以上の
浸水が想定される範囲を表示

凡例

- 高頻度（1/10）
- 中高頻度（1/30）
- 中頻度（1/50）
- 低頻度（1/100）
- 想定最大規模（L2）



1. 説明文
(1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、想定し得る最大規模の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水深3m（1階居室浸水相当）以上）を示した図面です。
(2) この水害リスクマップは、短期（令和7年度）の六角川水系六角川、牛津川、武雄川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10（10%））、年超過確率1/30（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30（3%））、年超過確率1/50（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50（2%））、年超過確率1/100（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100（1%））の降雨に伴う洪水により六角川、牛津川、武雄川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
(3) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。
(4) 想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成28年5月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。
2. 基本事項等
(1) 公表年月日 令和4年4月27日
(2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省九州地方整備局
武雄河川事務所：六角川水系六角川、武雄川、牛津川
(3) 実施区間
【武雄河川事務所】
・六角川水系六角川
左岸：佐賀県武雄市橋町大字永島字潮見17488番地先から海まで
右岸：佐賀県武雄市橋町大字永島字北上野5056番地先から海まで
・六角川水系牛津川
左岸：佐賀県多久市多久町字涼木4560番地先から六角川への合流点まで
右岸：佐賀県多久市多久町字大穀4304番地先から六角川への合流点まで
・六角川水系武雄川
左岸：佐賀県武雄市武雄町大字永島字戸井渡12912番地先から六角川への合流点まで
右岸：佐賀県武雄市武雄町大字永島字牛飼13482番の1地先から六角川への合流点まで
(4) 算出の前提となる降雨
・年超過確率1/10（六角川流域の6時間の総雨量136mm）
・年超過確率1/30（六角川流域の6時間の総雨量171mm）
・年超過確率1/50（六角川流域の6時間の総雨量189mm）
・年超過確率1/100（六角川流域の6時間の総雨量212mm）
・想定し得る最大規模の降雨（六角川流域の6時間の総雨量424mm）
(5) 河道条件：短期（令和7年度）
(6) 関係市町村 佐賀市、多久市、武雄市、小城市、嬉野市、大町町、江北町、白石町

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 4JHs 2